

海外安全対策情報（2022年4月～6月：コロンビア）

1 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

（1）全般

ボゴタ市、メデジン市、カリ市等の都市部を含め、窃盗・強盗の一般犯罪被害が昼夜を問わず多発している。比較的治安が良いとされる地域でも、飲食店内の置き引き、バイクを利用した強盗・ひったくり、夜間の路上強盗等の発生が見られる。また、SNSを通じて知り合いになり、飲食店や自宅等で飲食をする機会に乗じて、飲食物に睡眠薬を混入させて意識を失わせる睡眠薬強盗被害や、警察官に成りすまして職務質問を装い金品をだまし取る等、様々な手口の犯罪が見られる。

2022年4月下旬以降、ボゴタ市で週末のバイク二人乗り等についての規制が始まり、バイクを利用した強盗やひったくりの発生件数はやや減少傾向にある。この規制は当初は6月末までの予定であったが、規制が有効であることに鑑み本年12月末まで延長されることが決まった。一方、同じボゴタ市では性犯罪や家庭内暴力の発生件数は増加しており、大きな治安改善は認められない。

被害に遭わないためには、人気のない道路は日中でも注意する、身の回りの物から目を離さない、怪しい人物に狙われていないか注意する等、常に警戒を怠らない心構えが必要である。万が一、強盗やひったくりに遭った場合は、生命を第一に考え、絶対に抵抗せず、盗まれた物を取り返そうとはいけない。

（2）邦人犯罪被害事案

5月上旬、シクロビアからの帰り道にコロンビア人から声をかけられ、邦人が自転車から降車したのち、その仲間のコロンビア人から言葉巧みに自転車を窃取された。

2 テロ・爆弾事件発生状況・関連報道

E L N、F A R C 離反兵等の反政府武装組織の活動が活発な地域において、治安当局やインフラ施設に対するテロ事件が発生している。ボゴタ市では2017年6月、ショッピングセンター「アンディーノ」においてフランス人女性を含む3名が死亡する無差別テロ事件が発生、2019年1月にも市内の警察学校内で学生22名が死亡するE L Nによる自動車爆弾が発生しているほか、本年3月26日にはボゴタ市南部のシウダー・ボリーバルの交番（C A I）の外周に仕掛けられた爆弾が爆発し、付近にいた児童2名が死亡、勤務中の警察官1名を含む25名が負傷、交番付近の家屋等約50戸に物的被害が生じており、今後もテロへの警戒は必要である。

- ・ 5月2日 カウカ県アルヘリア市の図書館付近で自動車爆弾が爆発、付近にいた警備員及び市民各1名が負傷。図書館は全壊、隣接する市庁舎や近隣の建物にも甚大な物的被害。

- ・ 5月10日 アンティオキア県イトゥアング市の中心部で、テロによる爆発が発生し警察官4名、市民1名が負傷
- ・ 5月13日 カウカ県カトロ市で、バイク爆弾が爆発し、市民3名が負傷、付近の家屋40軒以上に物的被害
- ・ 5月19日 ノルテ・デル・サントアンデール県ティブ市の警察署に仕掛けられた爆弾が爆発、警察官4人が負傷
- ・ 6月15日 カウカ県ポパヤン市の刑務所に手榴弾が投てきされ、警備員等5名が負傷

3 誘拐・脅迫事件発生状況

ELN等の反政府武装組織や麻薬犯罪組織が、身代金目的の誘拐、恐喝、脅迫を行い、資金源としている。都市部では犯罪組織による偽装タクシーを使用した短時間誘拐の犯行もあることから、タクシーアプリや無線タクシーを利用し流しのタクシーは利用しない等の注意が必要である。